

# RSモルタル-NF

厚生省令第15号適合材料、JWWA Z 108号適合材料

RSモルタル-NFは、水を加えて練り混ぜるだけで使用できる、ポリマー及び短繊維を含まないプレミックスモルタルです。RSモルタル-NFには、適度に粒度調整した細骨材、特殊混和材が含まれていますので、左官・吹付け工法のいずれでも施工が可能です。特に大面積の場合は、吹付け施工で行なうことで大幅な工期の短縮が図れます。RSモルタル-NFは、各種浸出試験に適合しており、上水道施設(浄水場、配水池、沈殿池等)に使用できる水にやさしい補修材料です。

## 特長

- 吹付・左官工法のいずれでも施工可能です。
- ポンプ圧送性に優れます。
- 早期の強度発現に優れます。
- コンクリートとの接着性が良好です。

## 用途

- 上水道施設(浄水場、配水池、沈殿池など)のコンクリート構造物のモルタルライニング
- 各種水槽のコンクリート構造物のモルタルライニング

## 製品概要・標準配合

- RSモルタル-NF: 25kg/袋

### 標準配合

RSモルタル-NF	25kg(1袋)
清水	3.5~4.5kg(標準4.0kg)

### 1m<sup>3</sup>当りの標準使用量(清水4.0kg/袋の配合)

RSモルタル-NF	約1,850kg(74袋)
清水	296kg

1) 練り混ぜ水は、施工時の気温や施工方法により変動します。したがって、標準配合の範囲内で調整して下さい。

2) 使用水量4.0kg/袋により算出した数値です。

▶ 1袋当りの練り上がり量 約13.5ℓ

## 性能例

### 性能例①

試験項目	試験結果	試験方法
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	材齢3日	JIS R 5201に準じる[供試体寸法 40×40×160]
	材齢7日	
	材齢28日	
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	材齢3日	JIS R 5201に準じる[供試体寸法 40×40×160]
	材齢7日	
	材齢28日	
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	材齢7日	建研式接着力試験器による [基板にはJIS A 5304に規定するコンクリート平板(N300)を使用]
	材齢28日	
中性化試験(mm)	材齢56日	JIS A 1153に準じる[供試体寸法 100×100×400]
浸出試験	—	厚生省令 15号に基づく、資機材等の材質に関する試験による JWWA Z 108による浸出試験による
	—	

● 上記データは標準配合時の試験結果です。また、厳密に管理された試験室内にて実施されたデータであって、現場においては異なる数値を示す場合があります。

### 性能例②

試験項目	試験結果	試験方法
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	材齢7日	JIS A 1108に準じる[供試体寸法φ50×100]
	材齢28日	
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	材齢7日	建研式接着力試験器による[基板にはコンクリート平板を使用]
	材齢28日	

● 上記データは、吹付工法により成形したモルタルで試験した代表値です。

## ▶ 施工概要

- ① 劣化あるいは脆弱化した部位を、はつりあるいは高圧水で完全に除去し、健全なコンクリート面を露出させて下さい。
- ② コンクリート面は十分に清掃して、埃や汚れを取り除いて下さい。
- ③ 鉄筋が発錆している場合には、防錆処理を施して下さい。
- ④ 施工面は湿潤状態にして下さい。状況により、プライマーの塗布を行なって下さい。
- ⑤ モルタルを練混ぜる際、過度の練混ぜによる泡の巻き込みすぎに注意して下さい。
- ⑥ 練混ぜ量は、作業体制、環境条件等によって調整し、一度に大量のモルタルを練混ぜないで下さい。
- ⑦ 練り上がったモルタルを左官工法・吹付工法で施工して下さい。
- ⑧ 1層めの吹付け厚さは5 mm程度とし、下地コンクリートが隠れる程度として下さい。次層以降の吹付けは前層の吹付け終了後、適当な養生期間を置いて吹付け面が十分に締まったことを確認してから行って下さい。
- ⑨ 最終仕上げは、モルタルが締まった後に、金ゴテ仕上げを行って下さい。仕上げ後は必ず散水を行なって下さい(翌日より3日間以上)。また、急激な乾燥を受けないよう、シート等を用いて養生を行なって下さい。
- ⑩ 詳細は、施工要領書をご参照下さい。



## 使用上の留意事項

- 練り混ぜには、水道水またはそれに準ずる清水を用いて下さい。
- 欠損が大きいなどはく落の恐れがある場合は、鉄筋の設置、アンカー、メッシュの取り付け等のはく落防止対策を行って下さい。
- 外気温が5℃以下の場合は、作業を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、シート等の覆いの他、ヒーター等の保温措置を講じて下さい。
- 日射および風等の影響を受ける箇所での施工は避けて下さい。やむをえず施工する場合は、弊社支店、営業所にご相談下さい。
- 練り混ぜには、アルミニウム製の羽根は絶対に用いないで下さい。
- RSモルタル-NFの保管は、雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷いて床面から離れた状態で、ビニールシート等で覆って下さい。
- 廃棄する場合は、硬化後に産業廃棄物として処理業者に廃棄をご依頼下さい。
- 排水等は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に従って廃棄して下さい。

## ⚠ 安全上の注意事項

- 本製品はカタログに記載されている方法でご使用下さい。
- 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼、鼻、皮膚および衣類に触れぬよう保護具(ゴム手袋、保護めがね、マスク等)を着用の上ご使用下さい。
- 誤って目に入った場合は、直ちに清水にて充分洗浄した後に医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを引き起こすことがありますので、付着した場合は直ちに水洗いして下さい。
- 作業後は手洗い、うがいをして下さい。
- 詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

このカタログの記載の諸性能および諸物性は、環境条件や使用条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。十分なご検討の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。このカタログの記載内容は、予告無しに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承下さい。

 **太平洋マテリアル株式会社** <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル15階 TEL.03-5500-7512

北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎ 011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎ 022-221-4511
東京支社	〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル15階	☎ 03-5500-7531
関東支店	〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町4-262-6 ニューセンチュリービル	☎ 048-614-8470
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎ 052-452-7141
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 新大阪丸正ビル4階	☎ 06-7668-6001
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎ 082-261-7191
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎ 087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎ 092-781-5331